

2019

ITTFジュニアサーキット・タイオープン

2019/5/12~20



主催 (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部

令和元年度 全国高体連卓球専門部海外遠征
[ITTF ジュニアサーキットゴールド・タイオープン]

1. 大会名 2019 ITTF ジュニアサーキットゴールド・タイオープン
2. 期 日 令和元年5月12日(日)～5月20日(月)
 (1) 大会 令和元年5月15日(水)～5月19日(日)
 (2) 集合 関西空港 5月13日(月) 9:45
 (前泊者 5月12日(日) 17:00 関空エアポートホテル)
 (3) 解散 関西空港 5月20日(月) 7:30
3. 会 場 「Fashion Island, Island Hall 3rd Floor」
 587, 589, 589/7-9 Ramintra Rd.
 Kannayao, Bangkok, Thailand 10230
 Tel +662 947 5000
- 4 宿泊先 「The Grand Four Wings Convention Hotel」(予定)
 333 Srinakarin Road, Huamark, Bangkok, Bangkok 10240, THAILAND
 Tel +66 2 378 8000

5. 日 程 *日程については変更が生じる場合があります。

1	5/12(日)	17:00	前泊者集合(関空エアポートワシントンホテル)
2	5/13(月)	9:45 11:45 15:35	関西空港 集合 空港発 TG-623 便 バンコク空港着
3	5/14(火)		練習
4 ～ 8	5/15(水) ～19(日)	23:59	大会 種目 団体・シングルス 空港発 TG-622 便
9	5/20(月)	7:30	関西空港着、解団式、解散

6. 役員・選手名簿

役 職	氏 名	所 属	備 考
団 長 男子監督 女子監督	加藤 慎一 橋津 文彦 林 亜衣	(公財)全国高体連卓球専門部 山口県：野田学園高等学校 兵庫県：三田学園高等学校	岡山県：岡山操山高校
男子選手	杉本 和也 宮川 昌大 堀川 敦弘 佐藤 祐人	福岡県：希望が丘高等学校 山口県：野田学園高等学校 愛知県：愛工大名電高等学校 山形県：鶴岡東高等学校	
女子選手	福岡 乃愛 稲吉 美沙 麻生 麗名 青木 優佳	兵庫県：三田学園高等学校 福岡県：希望が丘高等学校 大阪府：香ヶ丘リベルテ高等学校 神奈川県：横浜隼人高等学校	





〈ジュニア女子団体 予選リーグ〉

予選1位通過

日本 3-2 中国香港2

稲吉美沙	2	10-12 11-8 11-9 10-12 5-11	3	馮慧珠
麻生麗名	1	7-11 6-11 11-8 8-11	3	吳詠琳
福岡乃愛	3	10-12 11-6 11-4 2-11 11-7	2	李凱敏
稲吉美沙	3	11-9 7-11 11-9 11-5	1	吳詠琳
麻生麗名	3	12-10 11-9 11-9	0	馮慧珠

日本 3-2 フランス

麻生麗名	3	11-9 11-4 13-11	0	COK Isa
福岡乃愛	0	10-12 9-11 3-11	3	PAVADE Prithika
稲吉美沙	3	11-4 11-8 12-10	0	LUTZ Camille
麻生麗名	2	10-12 14-12 12-10 9-11 9-11	3	PAVADE Prithika
福岡乃愛	3	12-10 11-3 11-6	0	COK Isa

〈ジュニア女子団体 決勝トーナメント〉

●準々決勝

日本 3-1 チャイニーズタイペイ2

麻生麗名	1	11-13 8-11 11-5 9-11	3	陳慈瑄
稲吉美沙	3	7-11 7-11 11-7 11-9 11-4	2	陳慈庭
福岡乃愛	3	13-11 9-11 11-9 11-8	1	周庭宇
麻生麗名	3	11-4 11-6 11-8	0	陳慈庭

●準決勝

日本 3-1 中国香港1

福岡乃愛	3	11-8 11-2 11-8	0	黄芊柔
稲吉美沙	2	8-11 6-11 11-9 11-4 5-11	3	李嘉宜
麻生麗名	3	7-11 9-11 11-4 11-8 11-7	2	周穎詩
福岡乃愛	3	9-11 11-5 11-8 5-11 11-5	2	李嘉宜

●決勝

日本 0-3 中国

稲吉美沙	0	8-11 2-11 3-11	3	臧小桐
福岡乃愛	0	5-11 6-11 7-11	3	石洵瑶
麻生麗名	0	6-11 8-11 10-12	3	袁媛

〈ジュニア男子団体 予選リーグ〉

予選2位・予選敗退

日本 3-0 タイ2

杉本和也	3	11-9 10-12 11-9 11-5	1	MEKAMPORN Nawin
宮川昌大	3	11-4 11-6 11-3	0	PITAKGULSIRI Wanchat
佐藤祐人	3	15-13 11-9 7-11 11-8	1	CHANPEN Chetthanabodi

日本 2-3 ベルギー

杉本和也	1	11-4 7-11 9-11 8-11	3	RASSENFOSSE Adrien
宮川昌大	3	11-7 12-14 10-12 11-8 11-5	2	KOSOLOSKY Olav
堀川敦弘	0	5-11 7-11 9-11	3	DEGROS Nicolas
宮川昌大	3	11-9 11-5 7-11 6-11 11-4	2	RASSENFOSSE Adrien
杉本和也	2	11-8 10-12 7-11 11-8 8-11	3	KOSOLOSKY Olav

女子 日本／イタリア／スリランカ混成チーム

予選3位・予選敗退

日本／イタリア／スリランカ混成チーム 2-3 韓国2

青木優佳	3	11-7 11-8 11-2	0	JUNG Dana
LAURENTI Jamila	3	11-7 6-11 9-11 11-9 11-6	2	YUN Arin
CHITTY Ayla Sharik	2	11-7 7-11 2-11 11-8 4-11	3	LEE Youngi
LAURENTI Jamila	0	7-11 6-11 5-11	3	JUNG Dana
青木優佳	2	8-11 12-10 11-6 9-11 16-18	3	YUN Arin

日本／イタリア／スリランカ混成チーム

0-3 ルーマニア／アメリカ混成チーム

LAURENTI Jamila	1	11-9 9-11 6-11 5-11	3	SUNG Rachel (アメリカ)
青木優佳	1	17-15 8-11 6-11 7-11	3	PLAIAN Tania (ルーマニア)
CHITTY Ayla Sharik	0	6-11 7-11 5-11	3	HSIEH Tia Lynn (アメリカ)

〈ジュニア男子シングルス 予選リーグ〉

予選1位

宮川昌大	3	11-8 11-4 11-6	0	JAIN Anukram (インド)
宮川昌大	3	11-3 11-6 11-8	0	SILVA Pitiyage (スリランカ)

予選1位

堀川敦弘	3	6-11 11-5 12-10 11-4	1	張佑安 (チャイニーズタイペイ)
堀川敦弘	1	9-11 4-11 11-6 3-11	3	謝聰凡 (中国)

予選1位

佐藤祐人	3	11-7 11-7 11-7	0	FERNANDEZ Carlos (ペルー)
佐藤祐人	3	11-7 7-11 8-11 11-2 11-3	2	WONGTHOSARAT Sirapat (タイ)

予選1位

杉本和也	3	7-11 11-6 11-5 11-8	1	PUTHIKUNGASERN Veerapat (タイ)
杉本和也	3	7-11 11-4 11-9 9-11 11-6	2	CHHETRI Aadarsh Om (インド)

〈ジュニア男子シングルス 決勝トーナメント〉

●2回戦(ベスト32決定)

佐藤祐人	4	12-10 11-9 11-6 9-11 11-5	1	DEGROS Nicolas (ベルギー)
杉本和也	3	4-11 11-4 11-8 1-11 11-2 2-11 3-11	4	BEH Kun Ting (シンガポール)
宮川昌大	4	11-4 12-10 9-11 6-11 11-5 11-5	2	PARK Minjun (韓国)
堀川敦弘	2	4-11 9-11 14-12 12-10 11-13 10-12	4	陳垣宇 (中国)

●3回戦(ベスト16決定)

佐藤祐人	3	11-8 4-11 11-9 3-11 12-10 9-11 11-13	4	匡勵 (中国)
宮川昌大	4	11-13 8-11 11-4 11-5 11-5 8-11 11-8	3	RASSENFOSSE Adrien (ベルギー)

●3回戦(ベスト8決定)

宮川昌大	4	11-9 11-9 11-8 11-6	0	于諾 (中国香港)
------	---	------------------------------	---	--------------

●準々決勝

宮川昌大	2	5-11 7-11 13-11 12-10 1-11 8-11	4	陳垣宇 (中国)
------	---	--	---	-------------

〈ジュニア女子シングルス 予選リーグ〉

予選1位

青木優佳	3	5-11 11-6 10-12 11-4 11-7	2	WONG Xin Ru (シンガポール)
青木優佳	3	11-5 13-11 11-6	0	CHIRAPHRUEK Chutikan (タイ)

予選1位

麻生麗名	3	11-3 11-6 11-2	0	THONGSVAT Bochompho (タイ)
麻生麗名	3	11-5 11-1 11-4	0	CHUA Zachy Mhiel (フィリピン)

予選1位

福岡乃愛	3	11-8 12-10 11-8	0	ARAPOVIC Hana (クロアチア)
福岡乃愛	3	11-6 11-5 11-8	0	陳慈瑄 (チャイニーズタイペイ)

予選1位

稲吉美沙	3	12-10 10-12 6-11 11-8 11-7	2	張如嘉 (チャイニーズタイペイ)
稲吉美沙	3	11-9 11-9 7-11 11-7	1	PHOMMA Thapanee (タイ)

〈ジュニア女子シングルス 決勝トーナメント〉

●1回戦(ベスト32決定)

青木優佳	4	11-4 14-12 5-11 15-13 11-8	1	吳詠琳 (中国香港)
福岡乃愛	3	12-10 13-11 16-14 9-11 8-11 8-11 5-11	4	LEE Youngi (韓国)
麻生麗名	4	11-7 11-7 11-3 11-8	0	SER Lin Qian (シンガポール)
稲吉美沙	4	11-4 11-7 13-11 11-6	0	PATIL Manushree (インド)

●2回戦(ベスト16決定)

青木優佳	4	15-13 11-7 11-8 11-9	0	張如嘉 (チャイニーズタイペイ)
麻生麗名	3	6-11 11-7 11-8 9-11 10-12 11-6 4-11	4	COK Isa (フランス)
稲吉美沙	4	9-11 9-11 11-6 11-7 11-6 3-11 11-6	3	ZAHARIA Elena (ルーマニア)

●3回戦(ベスト8決定)

青木優佳	1	7-11 14-12 7-11 4-11 0-11	4	石洵瑶(中国)
稲吉美沙	1	11-7 5-11 10-12 8-11 3-11	4	陳熠(中国)

(公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部 加藤 慎一

全国高体連の役員になり、H29年度に日韓中ジュニア大会（茨城県）、H30年度に日韓ジュニア（韓国開催・日本開催）に参加してきました。そして年号も変わり、令和元年度の今回は高体連の団長としてジュニアサーキット・タイオープンに参加させて頂きました。全国選抜大会後の春季合宿の運営から始めて、海外遠征の事務局員として選手選考、監督選考、文書発送、日本卓球協会・母体監督・選手・旅行業者とのやりとりなど気を遣いながら準備を進め、ようやく5月13日に出国となりました。監督・選手ともに健康で出国できたことは本当に良かったと思います。

タイ・バンコクは日本とは時差が2時間で、多少暑いと感じましたが、建物の中は本当に涼しく過ごしやすかったです。今回はジュニアサーキットを何度も経験されている野田学園の橋津先生、海外遠征は初めての三田学園の林先生に加えて、JNTの遠征で世界各国を転戦している明誠の岸先生が参加していたので本当に助かりました。ITTFやタイ卓球協会、ホテルとの交渉など非常に助かりました。また、ジュニアサーキットの試合の方法や注意点なども細かく教えて下さりありがたかったです。

加藤は今回、横浜隼人の青木選手がイタリアとスリランカの選手と団体戦を組むため、コーチとして混合団体のベンチに入ることになりました。このことは本当に勉強になりました。また、コーチ同士でコミュニケーションをとるのにやはり英語が必要と感じました。しかし、どちらのコーチも気さくでいい方でした。また、イタリアの選手はコーチと2人でジュニアサーキットを転戦しているようで、ランキングポイントも全選手の中で高く、強い選手でした。青木選手は日韓ジュニアの時も一緒に参戦していたので気心も知れていました、ベンチから見た青木選手は力を発揮できたと思います。韓国戦ではエースの選手に勝利しましたが、苦手と言っていたカットマンに対しては大逆転を許してしまい2-3の惜敗でした。もう少しいいコーチングができれば勝たせてやれたのではと思いました。この点でもしっかりと勉強していきたいと思いました。

男子は第2シードのベルギーに予選リーグで対戦して2-3の惜敗でした。2点は野田学園の宮川がいずれも3-2でとりました。ベルギーは体格のいい選手が揃っていてパワーもあり、回転もかかっている、その点では日本が劣っていたかもしれません。日本はサーブの技術や台上の戦術などは長けていたと思います。そして対戦日程が1日目の予選リーグではなく、2日目の決勝トーナメントであつたら、会場の雰囲気・体調面などの調整ができ、勝利できたかもしれません。いずれにしても惜しい試合を逃してしまいました。

女子は1試合目で台北Bに緊張からか0-2スタートになりましたが、3番の福岡が流れを引き戻し、4・5番と勝利しました。2試合目のフランスも接戦となり、4番麻生が2-3で惜敗し2-2に追いつかれた後、5番の福岡がカットを駆使して勝利しました。カットマンが活躍できる場面が多くあり、本人も自信がついたと思います。決勝トーナメントも順調に勝ち進み、決勝は中国。世界ジュニア2位の石洵瑶を擁する中国は盤石で、決勝の舞台ということもありオール0-3で敗れてしまいました。しかし、かなり苦しんだ予選リーグからしぶとく勝ち上がり、よく準優勝できたなと思いました。よく頑張りました。

男子シングルスは全員が予選リーグを突破し、決勝トーナメント進出を果たしましたが、結果3名の選手が中国人選手に敗退しました。その中で鶴岡東の佐藤はゲームオールジュースでリードする場面もありましたが3-4で惜敗してしまいました。宮川も準々決勝で2-4で惜敗しました。中国人の壁をなかなか破れませんでした。サーブ・レシーブでは先手をとれたと思います。しかし、集中力があり、大事な場面になればなるほどミスがなくなるという特徴があったと思います。

女子シングルスは全員が1位で予選リーグを突破しましたが、こちらも2名が中国人選手と対戦しベスト16で敗退しました。団体戦の時よりもいい勝負ができていたと思いますが、あと1本が取れないと感じました。その集中力が勝利につながるのであろうと思います。

今回は朝から晩まで試合があるタイムテーブルにも苦しみました。試合間隔が空くと、食事のタイミングや練習の方法、体調を整えることも試合では大事だと感じました。25分前にラケットを渡すことを考えると試合前の練習や集中力を保つことも難しかったのではないのでしょうか。海外遠征が初めての選手が多いためこの経験も勝利を目指す上では必要なことだと思いました。今回、結果は残念な所もありましたが、選手は本当によくやってくれたと思います。この遠征に参加した選手達が、この遠征で自信を持つことを望みます。そしてこの夏、インターハイを勝ち抜き、卒業後は世界で戦えるようになってもらえたらと思います。

最後に、今回の遠征にご尽力頂いた日本卓球協会・橋津先生・林先生・岸先生、色々ご協力頂きましたメーカーの皆様、そして選手を鍛えて下さっている母体監督・コーチの方々に感謝をしたいと思います。本当にありがとうございました。

元号も変わり新しい時代の幕開けです。

大型連休も明けた12日、空港近くのホテルに集合し翌朝の便でバンコク・スワンナプーム国際空港へ出国しました。私がタイオープンに引率するのは5年ぶりで、時間が過ぎる早さを改めて感じました。参加した選手男女8名は、各母体チームのインターハイ予選と重なった事や、個人戦の推薦出場との兼ね合いもあり春季合宿の上位者ではありませんでしたが強豪校の実力者が揃いで大会を迎えるのがとても楽しみでした。

高体連団長の加藤先生と女子監督の林先生と帯同しましたが、バンコク空港で同じ大会に参加されていた明誠高校の岸先生と合流し、一緒に行動することになりました。岸先生はジュニアナショナルチームで多くの国際大会を経験されているので本当に心強い存在でした。期間中は岸先生を含めた4人でグループラインをつくり、それぞれのドローやタイムスケジュール、会場へのバスの出発時間等を共有し、アクシデントがないようにお互いにチェックを行いました。

15日から団体戦は始まり、タイチームには3-0で完勝しましたが、ベルギーチームに2-3で惜敗し予選リーグ敗退という悔しい結果となってしまいました。ベルギーチームにはカデットの選手もいましたが、全員が180センチを超える身長の高い選手のチームで、大きなラリーになり最後はパワーで打ち負けてしまう展開が多くありました。日本チームよりも若い選手でありましたが、集中力も高く試合に対する意識の高さや粘り強さも感じ、数年後には国の代表になって世界卓球等にも出場してくる選手が育ってくると感じました。ミーティングを行い、17日から気持ちをポジティブに切り替えてシングルスに臨みました。最高成績は宮川選手がベスト8で中国人選手に敗退しました。杉本選手がシンガポールの選手に敗退した以外は3人とも中国人の選手に敗退する結果となりましたが、全員が中国製ラバーのドライブとツッツキの回転量に最後まで対応することができず、今後の課題となりました。

今回の大会はショッピングモール内のイベントホールのような場所で開催されたため、日本食レストランも多く、食事の面では不便をかんじることはありませんでしたが、それでも数名の選手が腹痛を訴え、改めて海外遠征での体調管理の難しさを実感しました。19日の深夜の便で帰国し、翌朝に関西空港に到着しました。大会が始まる前は正直なところ長期遠征になりハードに感じていましたが帰国してみると、あっという間の一週間だったように感じました。関空から山口に帰る新幹線の中で、ネットニュースを見て上原投手の引退会見を知りました。私と同世代で現役を続け、多くの苦労を重ねてきた「雑草魂」の選手で好感をもって応援していたので、残念に思うと同時に私自身もいろいろな事を考えさせられました。東京オリンピックを直前にスポーツ界全体も盛り上がりを見せていますが、その反対に「ブラック部活・行き過ぎた指導・インターハイの縮小」等、様々な問題をかかえながら物凄い速さで時間が過ぎていくように感じています。私自身も今回の経験も活かし様々な事にチャレンジし続けたいと思っています。最後に、このような機会を与えていただきました関係者の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

女子監督 三田学園 林 亜衣

この度は、2019タイジュニアサーキット大会の女子監督として派遣して頂きありがとうございました。監督として、海外での国際大会が初めてだったので、不安が大きかったですが、団長の加藤先生、男子監督の橋津先生に支えて頂き、とても貴重な経験をさせて頂きました。

日本とは違う環境の中での試合は気をつける事がいくつもありました。一つ目は食事。日本とは違い海外では水道水が危険なこともあり、氷やホテルでの食事など、いつも以上に気を付けるよう選手達には伝えました。二つ目は気候。バンコクは熱帯に属しているためとても蒸し暑いです。外に出ることはバスの乗り降り以外無かったですが、会場と移動のバスの中は冷房が非常に効いており寒いので、温度差で体調を崩さないか心配でした。三つ目はハードな試合日程。朝から試合が始まり、22時前にホテルに到着する日もあり、体力面が心配になりました。また、試合の合間が長い日もあり、気持ちの作り方や抜き方など時間の使い方がとても難しく、夜の試合時間が19時からや20時からが多く、食事の時間も乱れているのが心配でしたが、日程の後半には日本食を食べて、生徒達がそれぞれ気を付けて過ごすことができていたように感じます。

試合結果は準優勝でした。国内では堂々とプレーする選手でも国際大会では緊張が見られ硬くなっており、日本選手とは違う球質に困惑していましたが、少しずつ持てる力を発揮することができ、競りながらも決勝まで進むことができました。個人戦においては徐々に自分のプレーが出来るようになった選手と、最後まで対応しきれなかった選手もあり、満足のいく結果ではありませんでした。今大会に参加させて頂いて、より一層メンタル面の強化、サーブの工夫、レシーブ力の向上が大切だと思いました。選手達には遠征の経験をいかし、インターハイなどで活躍して欲しいと願っています。

最後にこのような経験をさせて頂いた全国高体連卓球専門部を始め、団長の加藤先生には色々なことに配慮して頂き、安心して遠征を行うことができました。また、橋津先生には様々な経験の話をして頂き、深く感謝しております。有り難うございました。

ジュニアサーキット・タイオープンに参加して

杉本 和也 希望が丘

ジュニアサーキットタイオープンに参加させていただきありがとうございます。今回、海外の選手と対戦して感じたことは、サーブが上手い選手が勝ち上がっていることです。サーブが上手い選手はサーブからの展開の得点率が非常に高く、サービスエースを取ることが多いです。そのため、相手にサーブで取らないといけないというプレッシャーを与えることができ、試合を有利に運ぶことができます。また、中国人選手はサーブだけでなく、台上技術や3球目、4球目の質が高く、相手に先に攻められることが少ないと感じました。自分は海外選手と比べてサーブの種類やレシーブの質が低いので自分だけしかできないサーブやレシーブを練習したいと思います。また、この経験を生かして、国内大会、国際大会でも活躍できるように頑張ります。

宮川 昌大 野田学園

今回、ジュニアサーキットタイオープンに参加させていただきありがとうございました。海外の選手と試合をして思ったことはボールにすごくパワーがあるので、先に打たれたり下がっての打ち合いになると点数を取られることが多かったことです。また、レシーブやチキータ、ストップなどの台上の技術がすごく上手いと思いました。台上から崩されてしまい点数を取られることも多かったのも、もっと台上からの展開を練習していきたいと思います。中国選手と試合をして感じた事はリスクのあるプレーをしないと点数が取れないということです。あまいボールを1本繋ぐと強いボールを打たれてしまうので、自分から攻めていかないといけないと思いました。今大会、団体とシングルで3回ゲームオールの試合を勝つことができ、我慢強く試合をすることができました。この経験を生かして今後の大会でいい結果が残せるように頑張ります。

堀川 敦弘 愛工大名電

今回の試合に参加させてくださり、ありがとうございました。海外の試合は2回目ですが、1回目と比べて中国の選手も出場しておりレベルが高かったです。そんな中で勝ちたい気持ちがありました。しかし、そんなに甘くはありませんでした。団体戦の予選第2試合、ベルギーの選手に3番で簡単に負けてしまいました。大切な1本を落としてしまい、チームの人にも、先生方にも申し訳なかったです。後々ビデオを見返しても反省しかありませんでした。試合中は頭が真っ白になっており、自分の良い所が出せないまま終わってしまい、悔しい思いをしました。シングルスは、予選リーグとトーナメントので中国人選手と試合をしました。試合で感じた事は、凡ミスが少ない事です。大事な場面になると回転をかけてミスを誘うのが上手で、自分はそれに対応できなかった事が負けにつながりました。これからは中国人選手のように凡ミスを減らし、相手のミスを誘うような練習をしていきたいと思います。1週間ありがとうございました。とても良い経験になりました。

佐藤 祐人 鶴岡東

今回はこのような海外遠征という貴重な機会に参加させて頂きありがとうございました。私自身初めての国際大会となり、今までにないような雰囲気の中で試合をし、とても良い経験となりました。団体戦では予選リーグでベルギーに負けてしまい予選リーグ敗退ととても悔しい試合となりました。ほとんどの試合が競る試合で勝敗がつき相手チームとの差はほとんどなかったと感じました。個人戦では決勝トーナメント2回戦で中国人選手に3-4で競り負けました。この試合では自分と中国人選手との差や自分の課題がはっきりとわかった試合となりました。中国人選手は自分と比べてどんな状況でもしっかりと回転のかかったドライブを厳しいコースに連打してきました。私も競った場面でも中国人選手のように厳しいコースに回転のかかったボールを打てるようにこれから練習していきたいです。今回の遠征を次の大会に繋げられるように地元に戻ってから努力していきます。本当にありがとうございました。

この度はこのような大会に参加させて頂きありがとうございました。初の海外遠征で感じたことは世界大会に出場するような選手は上手になりたいという意識が高く、勝ちたいという意識もとても高いということです。今まで自分は、勝ちたい、という意識が高い方だと思っていましたが、この大会に出場している選手は、負けた後自分の試合をビデオで見たり、アドバイスを聞いたりなど、自分よりも勝つことに必死になっていると感じました。なので、自分もそういう部分を見習って、もっと勝ちに貪欲になっていきたいと思いました。また、海外選手は思っていることが分かりづらい選手が多く、自分も思っていることが分かられにくいように表情をコントロールしたいと思いました。また、特に中国選手は見習うところが多く、一つひとつのボールの質が高かったので、自分ももっとコースやスピードを工夫して、中国選手などの強い選手に近づきたいと思いました。このような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

今回のジュニアサーキットタイオープンに参加させていただきありがとうございました。私自身、中国人選手が出場している大会に出る事が初めてでしたが、間近で見ると学ぶ事がたくさんありました。体幹の強さ、コース取り、緩急、回転量、対応力など多くの強みを感じました。日本と外国の違いは、ラリーになった時のパワーのあるボールと緩いボールを使い分ける事が出来る事だと思います。日本人が出来ない訳ではないですが、どちらかというパワーが足りないと感じました。自分が試合を通して感じた事は、攻めきる事、対応力が足りない事です。攻めているつもりでも、相手に打たされている場面も多々あり、その時の流れをどのようにして変えるのかを考える事が出来ませんでした。今回得た課題は、母体に帰って練習メニューをしっかりと考えて、徹底的に改善していきたいと思います。本当に今回はこのような経験をさせていただきありがとうございました。

この度は、このような大会に参加させていただきありがとうございました。今回の大会でいろいろな経験をする事ができました。海外の選手は日本の選手と違ってボールの回転量がおおくてピッチが遅かったです。中国人選手と試合をしてボールの質がすごいとおもいました。ドライブやサーブの回転量が多く、ボールが深いので取りにくかったです。試合をしてみてとても実力差を感じました。今回の大会でよかった試合は、気持ちの面でも安定してしっかり攻撃ができていたけど、あまり良くなかった試合はとても焦ってしまって足が止まってしまったり守りに入ることが多かったです。もうすぐインターハイ予選のシングルスがあるので、それに向けて今回の試合の反省をしっかりして練習していきたいと思いました。外国の選手と交流をしたりして新しい友達がたくさん出来たので良かったです。またこのような大会に参加したいです。ありがとうございました。

この度はジュニアサーキットタイオープンに参加させていただきありがとうございました。この海外遠征を通してたくさんの事を学ばせていただきました。技術面やメンタル面、体力面などを学ばせていただきました。技術面では、日本にないようなプレースタイルの方が多く、いろんな球質を取れるようにこれから練習していきたいです。メンタル面では、自分がこの遠征で1番成長させたいと思っていました。最初は緊張のあまり自信をなくす事が多かったのですが最後の方は自信をもって自分のプレーが出来たのでよかったと思います。これからは最初から強気でいけるようなメンタルを磨きたいです。体力面では、初めての7ゲームマッチで体力面での勝負となることもありました。これからは7ゲームマッチにも対応できるぐらいの体力をつけて戦えるようにしたいです。本当にこの度はこのような機会を与えていただきありがとうございました。